

読書大好き、やさしい子ども

米子市子どもの読書活動推進ビジョン



1 子どもの読書活動って、なに？

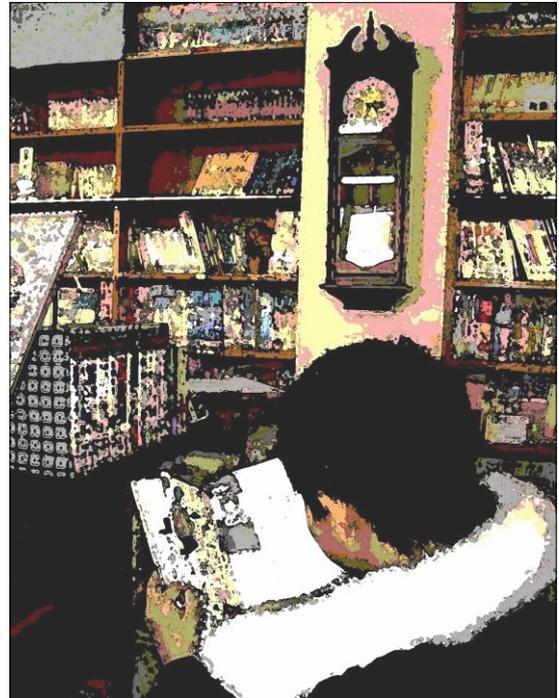
☆ 読書との出会い

子どもたちは、読書を通じて実際に体験できないさまざまな出来事を経験し、想像力をいっぱいに働かせます。そのことで自然といろいろなものの見方や考え方を身につけ成長していきます。

保護者が、まだ小さな子どもに本を読み聞かせをすることは、家庭での教育の第1歩です。

乳幼児期の子どもでも語りかけ、本を読み聞かせることで子どもの心におちつきを与えたり、人への信頼感が育つといわれています。

保護者と子どもが、それぞれの成長段階に合わせて一緒に過ごす時間に、ぜひ読書を取り入れてみませんか。



☆ 今なぜ、読書活動か？

子どもたちが1ヶ月に読む本数は、小学生よりも中学生、中学生よりも高校生と段々と少なくなっています。

読書以外にも、勉強や部活動、友達と過ごす時間も多くなっていくことで、読書に使う時間も減ったことも大きな原因の1つでしょう。

また、毎日の生活の中でテレビは欠かせないものになっています。最近では小さな子どもたちもビデオを見たり、ゲームをしたりして時間を過ごすことが多くなるなど、手軽に楽しめるメディアが増えたことから様々な問題が指摘されています。

その中で、読書は自分のペースで繰り返し、じっくりと考えながら過ごすことで、物事の判断力や価値観を学ぶ機会を与えます。子どもたちの感性を豊かにするのです。

そのためには環境を整え、子どもたちに読書の機会を提供していく必要があります。

学校や図書館、地域の公民館等で、子どもたちに読書の楽しさを伝えていく一方、保護者のみなさんにもその大切さを知っていただき、一緒になって活動していただけることを願っています。

2 米子市でやってきたこと

① 朝の読書活動

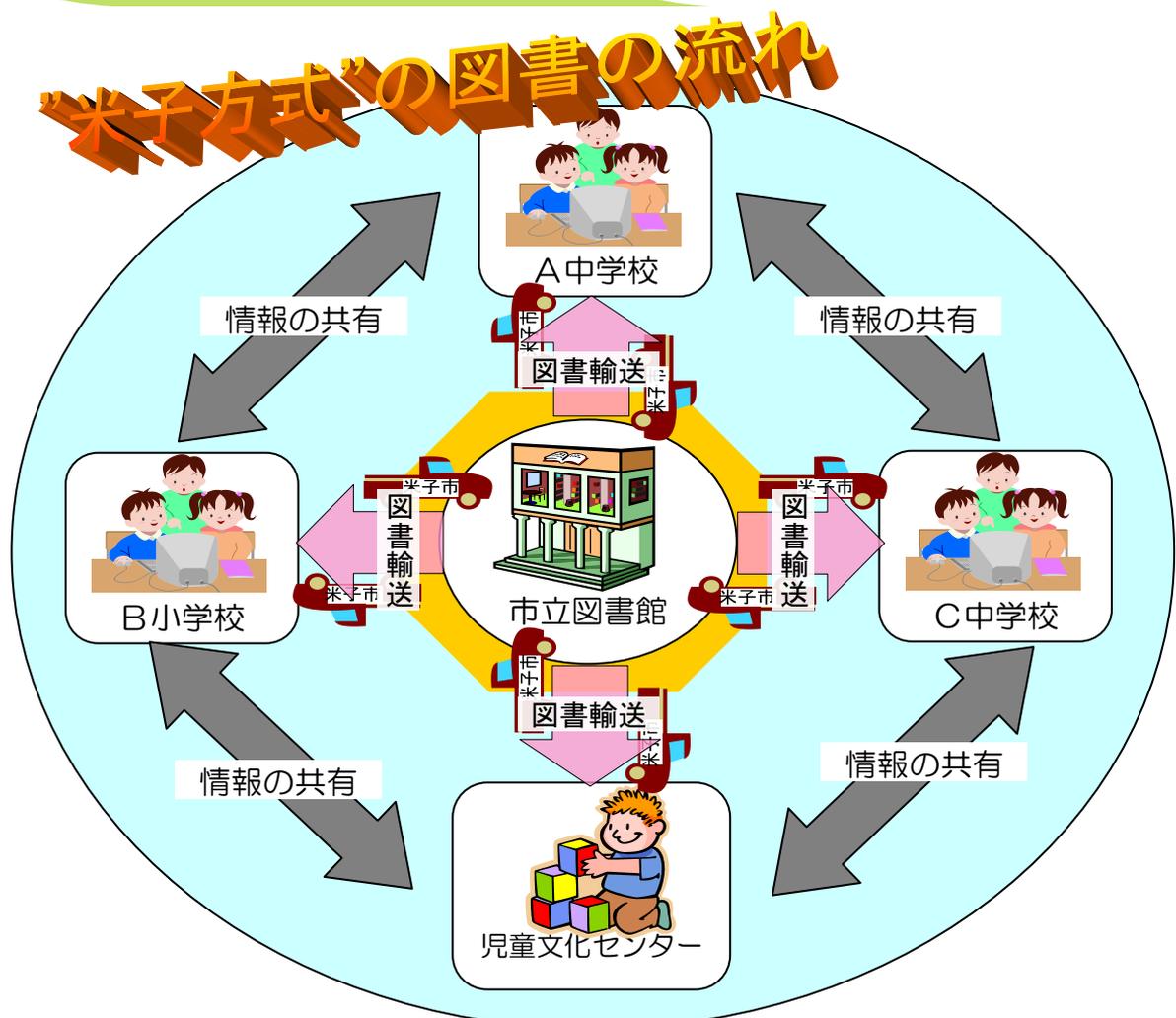
米子市では、平成8年に全国で初めての「朝の読書全国交流会」が民間主導で開催しました。

それをきっかけに県内でも活動が広まり、今では鳥取県の実施率は、全国1位です。

米子市では、全小中学校で実施していますが、特に低学年では、「朝読」の時間を利用してボランティアの方々に読み聞かせをしてもらったりといろいろな工夫をしています。

また、子どもたちにいろいろな本を読んでもらうために、市立図書館から学期ごとにたくさんの本を学校へ貸出ししています。

② 学校図書館のネットワーク



米子市立の全小中養護学校と児童文化センターの図書室の本をデータベース化しました。もちろん市立図書館の本も利用できますので、自分の学校にない本でもすぐに借りることができます。

その本は、市立図書館を経由して各学校に届けられています。

③ ブックスタート

米子市福祉保健総合センター『ふれあいの里』で子どもの6か月健診の時にブックスタートを行なっています。

読み聞かせボランティアの方々が中心となって、図書館や児童文化センターの司書や健康対策課の保健師と一緒に、絵本を通しての子育てについてお話をします。そのときに、本を2冊プレゼントします。ぜひ、子どもさんに読んで聞かせてあげてください。

また、図書館が推薦図書のリストを作っていますので、ご利用ください。



④ 読み聞かせボランティアの皆さんの活躍

いろいろなところで積極的に読み聞かせや童謡、手遊びなどをされています。

児童文化センターでは、ボランティアの方が中心になって毎月勉強会もされています。図書館、公民館、小学校でも活躍されています。

ブックスタートで、ボランティアの方がお母さんと子どもに本を紹介する様子



3 米子市がこれから頑張っていくこと

① 環境づくり

(1) 読書を進める環境づくり

ア 保護者のみなさんへ

(ア) 0歳児（6か月健診）のブックスタートで絵本をプレゼントします。この本を家族や兄弟等、身近な人にたくさん読んでもらってください。それが人生におけるすばらしい読書のスタートになることを期待しています。

(イ) 子育て講座などでのメディア（テレビ等）の功罪に関することや読書の楽しみ方などの講座を行います。家族で読書の楽しみを共有してください。

(ウ) 市立図書館のホームページで子育て支援情報や推薦図書について紹介していきます。

イ 学校での取り組み

(ア) 「朝の読書」の時間にたくさんのお本に触れていただきます。まだ難しい漢字の読めない低学年の子どもたちには、ボランティアの方々の読み聞かせなど、工夫をした取り組みも行います。

(イ) いろいろな科目の授業の中で図書資料を活用した調べ学習等これからも続けていきます。

(2) 子どもたちに読書の楽しさを知ってもらうために

ア 図書館、児童文化センター、公民館等を通じてたくさんの読み聞かせボランティアの方が活動されています。

まずは、お近くの施設へ問い合わせしてみてください。

意外と身近にあるかもしれません。

イ 毎年4月23日は、「子ども読書の日」です。この日の前後には、全国でいろいろな催し物が開催されます。

市立図書館を中心にさまざまな催しを行ないますので、是非ご来場ください。

ウ 移動図書館車や公民館の図書室は、身近な本棚です。移動図書館車が停まっていたら、ぜひ一度お立ち寄りください。

また、公民館は米子市に29館あります。お住まいや学校、職場の近くの公民館にも図書室がありますので、ご利用ください。

エ 「ライトハウス点字図書館」等と連携して、障がいのある子どもたちへ



の支援をします。

「ライトハウス点字図書館」には、音訳CD等の資料が揃っています。

(3) 読書の楽しさを伝えてくださる方々へ

ア 保護者のみなさんは、子どもに読書の楽しさを伝えられる一番身近な存在です。子どもの成長段階に合わせて、一緒に読書の楽しさを共有してください。まずは、ブックスタートの絵本や、市立図書館の推薦図書リストを利用してみてください。

イ 米子市内の市立小中養護学校には、司書教諭の資格を持った先生や専任の学校図書職員がいます。

子どもたちに読書や図書資料を活用していく楽しさや充実感を伝えられるように、研修を重ねていきます。

ウ 読書の楽しさを子どもたちに伝えるためには、読み聞かせ等をしていただくボランティアの方々が必要です。米子市では、いろいろなグループの方と協力して、人材の育成を進めていきます。

② ひとづくり・地域づくり

(1) やさしい心を育てるために

ア 「朝の読書」は、短い時間でも気持ちを落ち着け、1日の学校生活をスタートさせるためには、とても有効な方法のひとつです。

特に、思春期の子どもにとっては、自分自身について、また友達や先生、家族との関係を考えるきっかけの1つとなります。

イ 読み聞かせは、本を読む側と聞く側との気持ちをつなぐものです。その力により信頼の気持ちを育てていきます。

ウ 幼い頃に保護者と子どもが同じ時間を過ごすことは、お互いの絆を深めるために大切なことです。米子市では、ブックスタートを通じて、支援していきます。

(2) 子どもたちが地域で暮らすために

ア 地域の歴史や民話についての冊子をこれからも折に触れ作っていきます。子どもたちに地域や地域の文化について興味をもってもらうためのきっかけとなればと思います。

イ 学校で、地域についての調べ学習を行います。今暮らしている町の姿や昔の様子などを子どもたち自身が調べることで、地域への愛着や理解が深まっていくことを期待しています。

また、そのために必要な本や資料については、市立図書館が支援していきます。



4 おわりに

米子市では、今回策定したビジョンを基に市民の皆さんや関係する機関・団体との連携や協力を保ちながら活動を推進していきます。

また、急速にいろいろなものが変わっていく時代です。今回策定したビジョンについても、現状に見合った活動になっているかどうかを検証しながら、常に新たなビジョンを活動の中に取り入れていきます。

○米子市ホームページ <http://www.yonago-city.jp/>

○米子市教育委員会「文化・生涯学習ネット」

<http://www.yonago-city.jp/bunsho/>

〔※見かた〕

米子市HP → リンク集 → 文化・生涯学習ネット

(タムタムスクールのご案内等が掲載されています!)

★問い合わせ先一覧

○米子市教育委員会事務局 生涯学習課

・生涯学習係・・・・・・・・0859-23-5443

米子市子どもの読書活動推進ビジョンについて

米子市立図書館について

公民館について

タムタムスクール（子育て講座）について

・青少年係・・・・・・・・0859-23-5441

児童文化センターについて

○米子市教育委員会事務局 学校教育課

・指導係・・・・・・・・0859-23-5432

小中養護学校について

○福祉保健部 児童家庭課

・保育係・・・・・・・・0859-23-5177

保育園について

子育て支援センターについて

・子育て支援係・・・・・・・・0859-23-5135

なかよし学級について

児童館について

○福祉保健部 健康対策課

・母子保健係・・・・・・・・0859-23-5454

乳幼児学級について

ブックスタートについて